

富医ニュース

No.552 平成30年1月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 堀野俊男
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

平成29年 三師会懇談会

地域包括ケアシステムを推進するうえで欠くことができないのが、医療、介護、行政を中心とした多職種連携です。現在の三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）には、顔の見える良い関係が歴代の先生方のお力で出来上がっています。おかげで、認知症フォーラム、富田林市医療介護専門職研修会、富田林市包括ケア会議等でスムーズな運営が行われています。

顔の見える関係作りの一環として三師会懇談会が11月25日（土）に門前屋で行われました。医師会からは、堀野、宮田、児嶋、堀内、中平、新田（敬称略）の6名の先生が参加して下さいました。歯科医師会は9名、薬剤師会からは7名参加されました。

今年度当番幹事の木下歯科医師会会長の挨拶で始まり、参加者の簡単な自己紹介の後、宴会が和やかに始まりました。アルコールが程よくまわると気軽にお互いの話をされて懇親の場らしくなりました。新田先生を皮切りに多くの先生方が美声を披露して下さい、さらに盛り上がりました。

来年11月24日（土）に医師会が当番幹事で三師会が予定されています。医師会員ならどなたでも参加できる会です。多くの先生方が参加して下さいようお願い致します。

新年互礼会のご案内

日時

平成30年1月27日（土） 18時～20時（宴会です）

場所

セントレジスホテル大阪 11階
アスターボールルーム
☎541-0053 大阪市中央区本町3丁目6-12
Tel.06-6258-3333

調整日

12月分 1月9日（火）
PM3:00まで

1月分 2月8日（木）
PM3:00まで

1月の予定

- 5日（金）・仕事始め
- 9日（火）・調整日
 - ・学校医部会
 - ・休日診療委員会
- 10日（水）・救急災害医療委員会
- 12日（金）・理事会
- 18日（木）・学術講演会
- 23日（火）・感染症対策委員会
- 26日（金）・広報調査委員会
- 27日（土）・新年互礼会
- 29日（月）・広報調査委員会
(校正)
- 30日（火）・休日診療委員会

医師会事務局は12月28日午後から1月4日まで休業させていただきます。

平成29年 12月定例理事会

日 時 平成29年12月2日(土)
13:30より
場 所 移動理事会

会長挨拶

報告事項

協議事項

1) 入退会の件

提出締切日が変わりました

平成30年1月より特定健診府医代行入力票、乳幼児検診・妊婦検診の当会での締め切りが、レセプトの締め切り日と同日に変更になりました。

平成29年12月実施分の特定健診府医代行入力票、乳幼児健診、妊婦健診の提出は1月9日(火)となります。

1月9日(火)	7月6日(金)
2月8日(木)	8月8日(水)
3月8日(木)	9月6日(木)
4月6日(金)	10月5日(金)
5月8日(火)	11月8日(木)
6月7日(木)	12月6日(木)

平成30年のレセプト提出締切日は上記の通りです。

学術講演会のご案内

日 時 平成30年1月18日(木) 14:00~15:30
場 所 医師会 研修室

【特別講演】

座 長 坂口医院 坂口 隆啓 先生
講 演 「当院における緩和ケアの現状」
講 師 富田林病院
外科 副部長 吉川 浩之 先生

2007年がん対策推進基本企画で「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標と掲げられ2008年緩和ケア研修会の開催指針が出されました。5年後、拠点病院での研修会修了の推進、研修医の修了のさ

らなる推進が進められ、今年ではほぼ10年となり緩和ケアの認知度も上がってきています。

当院でも緩和ケアチームとして内科、外科、整形外科リハビリ科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科医師、がん性疼痛認定看護師、緩和認定看護師、PT、薬剤師、MSW、管理栄養士、各病棟リンクナース 総勢19名となっています。週1回の緩和ケアチームの回診、月1回の委員会、勉強会を行い、チームとして向上を目指しています。外来については担当医師が適宜対応するようにしています。

がんと診断されたときから緩和医療は始まっており、比較的早期介入として外科の場合であれば、外来、手術といったところでも必要ならば介入するようにしています。患者にとっては告知時に最もつらさを感じており診断後1年以内の自殺のリスクは24倍といわれています。そういった時期への介入、患者会等のサポートが必要ではないかと考えています。

また患者会設立についても少しずつ実現に向けて進んでいます。

ACP(advance care planning)が重要であり、いかに全人的苦痛を緩和しながら患者のQOL向上あるいは維持させるためにチームで取り組んでいます。

疼痛コントロールについても様々な鎮痛薬、鎮痛補助薬が発売され、オピオイド導入、タイトレーションのマニュアルを作り診療の助けになるようにしています。新しく発売されたヒドロモルフォンも11月より導入しています。まだ導入例はわずかですが使用感などを紹介できればと思っています。

地域性で高齢者も多くチームとしても対応に苦慮します。いくつかの症例を紹介しながら当院の現状における問題点等、ともに考えてみたいと思います。

※本会は生涯教育制度「1単位」取得カリキュラムコード「10」・「81」申請中です。

12月 学術講演会要旨

大阪府保険医協会 尾内 康彦 先生

医療機関のクレーム対応では、院長、幹部が対応に慣れてないと「患者のいいなり処理」か「人任せ処理」に傾いた解決を図り勝ちで、解決は難しい。いま患者とのトラブルを解決するには何が最も必要か。そのポイントは「応召義務」の深い理解にある。

応召義務については、有名な昭和24年の医発第

752号通知があるが、これだけで現行の応召義務を理解してはならない。出された時期と現在とでは時代が違う。現在の理解は勿論ケースにもよるが、司法の専門家で、「応召義務」にいう「正当な事由」にあたり、診療拒否してもよいものが増えている事実を押さえる必要がある。実際「神戸地裁92年6/30判決」「東京地裁05年11/15判決」「東京地裁14年5/12判決」など関わりのあるごく一部の判決をみてもそれは明らかである。そこから私は“医療機関側が患者側との信頼関係を構築する努力をしたにもかかわらず、患者側の暴言暴力により、適切な医療行為を期待できないほど信頼関係が破壊されている場合には、診療を拒否する正当な事由がある”と結論づけている。

そのことの妥当性は、日医が9年前に答申した医事法関係検討委員会答申（「医師・患者関係の法的再検討」について）の中で、時代の影響を受けた患者側の受療態度の変化を受けて、「医師法第19条を抜本的に見直し、新しい時代に即した内容の法律に改めること」と言い切っていることから明らかである。

鉄道トリビア ～ホームのない駅 阪急編～

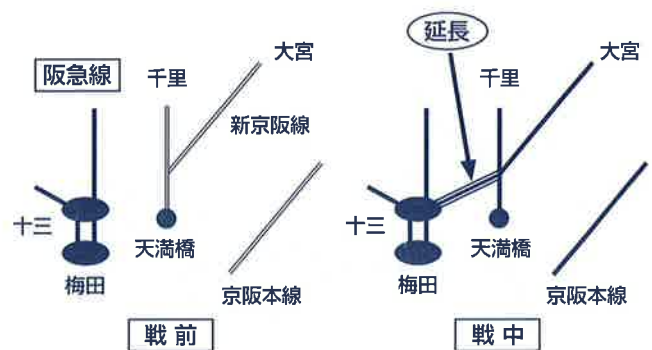
神戸・宝塚・京都の3線が集まる梅田～十三間。昼間であれば10分おきに3線の電車が梅田駅を同時に発車し、十三までランデブー走行を行います。マニアにはたまらない光景。その途中にある中津駅をみると、ホームがあるのは神戸線と宝塚線のみ。京都線にはホームがないのです。これには京都線のできた経緯が絡んでいるのです。今回はそのお話しを。



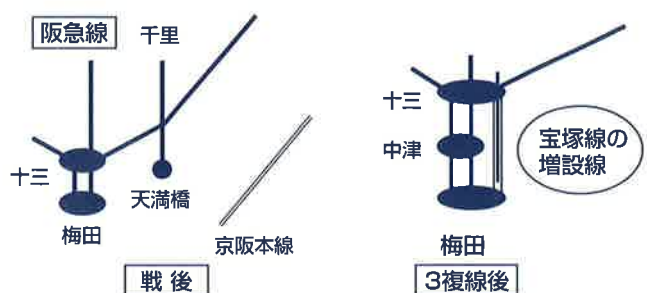
中津駅。京都線の普通列車が通過していきます。ホームの点字タイルに注目。安全スペースがほとんどありません。

このトリビアシリーズでも何度か取り上げていますが、戦前の京阪電鉄は野望に満ち溢れていました。京都

から見て淀川の左岸沿いを走る京阪本線に加え、淀川右岸にも路線を敷くことを目的に、京阪は大正11年に新京阪鉄道という子会社を設立します。昭和6年には天満橋（現、天六）～大宮間が全通しますが、戦時体制に入った日本の国策により、阪急と京阪は強制的に合併させられます。一つの会社となった手前、利便性向上のために京都線の電車を梅田に乗り入れることとし、淡路～十三間が延伸され、これにより京都線の電車は十三から宝塚線の線路に入って梅田まで乗り入れるようになりました。



戦後、阪急と京阪は分離独立しますが、このとき京都線は京阪には戻らず、阪急線として存続することになります。当時の役員会において阪急側が数的優位であったため、多数決で半ば強引に決められたという噂もあります。どこかの国会でよく聞く話ですね。



高度経済成長時代に入ると、沿線人口の急増により、京都線の電車を宝塚線経由で捌くことが困難になります。そして昭和34年、宝塚線の横に増設線を建設し、現在の3複線が完成します。この際、中津駅のホーム増設も検討されましたが、元々の敷地がかなり狭くてホームを増設する余地がなく、増設線だからという理由もありホーム建設は見送られてしまったのです。当初は京都線の普通列車は十三まで宝塚線経由で走り、中津駅に止まっていたのですが、列車本数の増大に伴い、京都線の列車は全て通過させることとなりました。

そういう目でみていると、京都線の線路は神戸・宝塚

12月行事・会合

2日(土)・理事会

7日(木)・調整日

8日(金)・耳鼻科医会

11日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

14日(木)・学術講演会

22日(金)・広報調査委員会

25日(月)・広報調査委員会(校正)

27日(水)・会長副会長連絡会議

28日(木)・事務所仕事納め

年末年始医師会事務所休務

平成29年12月29日(金) 仕事納め 28日(木)



平成30年1月4日(木) 仕事始め 5日(金)

○会員数(1月1日現在) 192名

A会員 100名 B会員 92名

○入会 なし

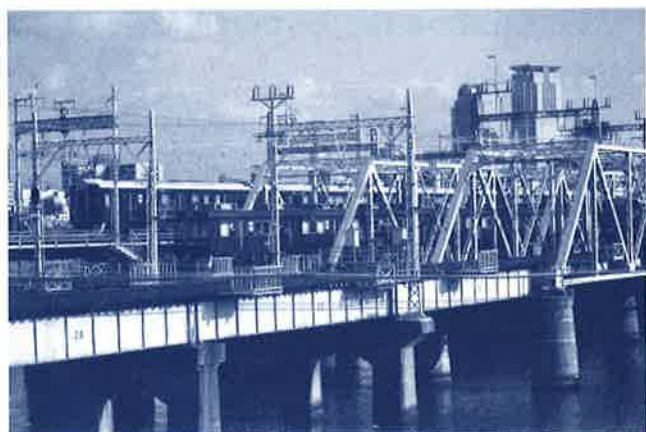
○退会 なし

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	植村 匡志
	奥野 敦史	尾多賀雅哉	遠山 佳樹
	中村 元	藤岡 洋	山本 善哉
	山村 友良		

線と比べ一段高い位置にあり、淀川橋梁では神戸・宝塚線がトラス型鉄橋であるのに対し、京都線はただのガーター橋という違いがあります。また梅田～十三間の京都線の線路は、あくまで宝塚線の増設線という名目で作られているので、京都線の正式な起点は梅田ではなく、十三なのです。梅田～十三間の京都線の電車は、宝塚線の増設線を通して走っているということになっているのです。まあどうでもいい話なのですが…



左から京都線、宝塚線、神戸線。京都線は一段高く、トラスがありません。

歴史により形が変わる。それがみえてくれば面白くなる。そうならばあなたは既にマニア界の入り口にたっています。いかがでしょうか? ではまた… (Zenkun)

